

# 学習会の記録

2006年10月7日

## 《参加者》

金子 三浦 阿部 橋元 二木 本澤 郡司 渡邊 福島 安藤 北野

## 《学習内容》

### ○カンボジア現地報告(北野)

- ・NGO「るしな」の会について  
現地人(クメール人)とともに活動する。(川の浄化、建物など)
- ・カンボジアの文化について  
物価は安い。  
3食米飯。箸もスプーンも使う。  
カンボジアの国民性は、気が弱いが、見栄を張る。表面だけは着飾る。  
→アンコール・ワットにその国民性が見える。
- ・地雷について  
地雷除去活動家 アキー・ラー(日系カンボジア人)の話  
カンボジアには国内全土に地雷が埋まっている(ポル・ポトが埋めながら北へと向かった)  
カンボジア政府は地雷除去活動を快く思っていない。手伝わない。  
→なぜなら、地雷埋設国には寄付金が出るため。何のための寄付金なのだろう。  
街に手や足や目のない人がいる。マーケットなどで物乞いをしている。義足もない。
- ・カンボジアの抱える様々な問題  
貧富の差が顕著。働いても十分なお金が得られない。  
→悪いことをしている人が金持ち。法の整備を徹底すべき。  
児童労働は公然と(店の呼び込みなど)  
水道水は安全ではない。  
20歳で身長155cm。栄養が十分でないのでは。
- ・北野さんのまとめ  
カンボジアへの支援を考えると、「モノ」よりも「技術」が必要ではないか。  
「カンボジアは世界のゴミ箱」色々なものがくるけど、活かされない。  
貧富の格差は今後さらに広がっていくのではないか。

### ○カンボジアについて(福島)

- ・カンボジア政府観光局HPより、カンボジアの基本的情報  
地理的な情報  
歴史的な情報  
観光局のものであるので肯定的な情報しか載せられていない。

### ○参加者感想(抜粋)

- ・表裏の激しい国民性というのに興味を持った。もっと知りたい。
- ・現地に行かなければわからないことを知った。自分も行ってみたい。
- ・今のカンボジアの状況について、「なぜこうなったのか(原因)」「これからどうしたらよいのか」「わたしたちにできること」を考えていきたい。

## 《次回の予定》

10月21日(土) @プラザイースト第1セミナールーム

- ・カンボジア現地報告2(島崎さん)

※10月20日(金)~22日(日) 尾間木地区文化祭 出展@尾間木公民館

- ・身近にできる国際支援
- ・活動報告